

令和2年6月3日

教員 各位

常葉大学学長 江藤 秀一

短期大学部学長 木宮 健二

対面授業の再開にあたって～6月8日からの授業について～

新年度の授業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために遠隔授業とさせていただきますが、皆様方のご協力のもと、小さな問題は生じておりますものの、順調に教育を継続することができております。皆様方には長時間にわたる授業準備をはじめ、こと細やかな学生指導、さらには遠隔授業のもどかしさなどから、一方ならぬご苦勞をお掛けいたしておりますこと心苦しく思いますとともに、心よりお礼申し上げます。

さて、静岡県では5月14日付で緊急事態宣言が解除され、県教育委員会では感染防止対策を十分に講じた上で教育活動を再開しております。本学におきましても、国及び県の方針に応じまして、別紙教務部からの通知のとおり、6月8日から段階的に対面授業を再開することといたしました。なお、しばらくは学生及び教職員の皆様はじめ、学内外の感染防止を最優先としますので、科目によっては引き続き遠隔授業をお願いすることといたします。

昨年度末から学生の入構制限を行っており、キャンパス内は寂しくがらんとしておりましたが、久しぶりに若者の笑顔と明るい声が戻ってまいります。とはいえ、新型コロナウイルス自体は消滅したわけではなく、まだ第2波、第3波の感染が懸念されます。そのために対面授業にあたりましては様々な制限を設けておりますが、これも感染拡大防止に最大限努めて、対面授業の全面再開を目指すものでありますので、何卒ご理解ご協力のほどをお願い申し上げます。

奇しくも対面授業を再開する6月8日は、本学の創立記念日にあたります。本学は終戦後のわずか1年後の昭和21年（1946年6月8日）、歴史学者の木宮泰彦創立による静岡女子高等学院にその源を発します。創立者は、戦後の混沌とした状態から日本を再び立ち上がらせるには教育の力に俟つほかない、との強い思いから学校を設立しました。今般の未曾有のウイルス禍のために私たちは極めて困難な状況に立たされておりますが、創立者同様に教育の力を信じ、いかなる困難にもめげずに「より高きを目指して～Learning for Life～」という建学の精神を具現化すべく、次世代の日本を担う若者の教育に力を注ぎ続けていきたいと思っております。対面授業におきましては感染防止対策等、皆様方にはなお一層のご苦勞をおかけすることになりますが、どうぞ引き続きのお力添えを改めてお願い申し上げます。